

第2回 公共施設マネジメント入門講座

1. 参加者に聞いた『府中市の公共施設に対する印象』

【場所】	【参加者】
武蔵台 文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の数充実していて、贅沢に感じるくらい。維持は大変だと思う。管理をしっかりしてもらいたい。 ・地域の子どもの活動をする場所に苦慮している。学校を開放してもらいたい。 ・今後建替えが必要な時期が来たら、小学校と中学校、さらに文化センターの施設を共有化できるような形にして、コミュニケーションが取れる場ができるといいと思う。その際、建物は、用途変更が容易な構造にってもらいたい。 ・住民が希望する施設はほとんどそろっている。マネジメントを進める際は、実際に施設を使っている地域住民の声を十分に聞いてから進めてほしい。 ・施設を造っても利用形態は変わるので、時代に合った施設の利用方法を考えてほしい。
是政 文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にサービスを提供する施設については、非常に恵まれている。ただ、市民が主体的に活用したいという時に登録団体以外や不特定多数の集まりだと使えない場合があるので、市民同士の交流会や勉強会ぐらいには、簡易な手続きで使えるようにしてほしい。 ・数が多いので、維持費がかかる。資金が潤沢な時代ではないので、いかにメンテナンスをしていくかが課題になる。もっと歳入を増やすことに積極的に取り組む必要がある。 ・マネジメントを具体的に行う際には、すべての施設を一斉に行うのではなく、皆に影響が少なく、成果が分かりやすい、また納得しやすい部分から取り組んでもらいたい。
四谷 文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・以前住んでいたところと比べると、数は多い。問題は古さだと思う。耐震等には、もっとお金をかけてほしい。 ・現状、施設同士が離れていて、ついでに利用するというのができないところもあるので、集約化ができればいいと思う。 ・コスト削減をしながらサービスを維持する方法として、現在の正規職員の業務を嘱託やアルバイトが行い、それでも足りないという事なら、ボランティアを活用する方法がある。

2. 参加者からの主な質問・意見及び市の回答

	【場所】	【参加者】	【市】
1	武蔵台 文化センター	市の中でも人口が増えそうな地域、減りそうな地域がある。例えば新しい学校を建てる場合、今は教室を30室ぐらい造ってしまうよりも、ワンフロアをパーティションで自在に対応していく等、状況やニーズの変化への対応が容易にできることが必要な時代だと思う。	国の動向も踏まえ、既存の施設は出来るだけ長く使用していくという考え方もあるが、様々な方法を検討する必要があると考えている。地域ごとの声を聴いて柔軟に対応していかなければならない。
2	武蔵台 文化センター	武蔵台は市の境にあるので、近所を歩いていると他市の方ともよくすれ違う。府中市だけで取り組むことに固執せず、近隣市とも連携してもらいたい。	
3	武蔵台 文化センター	以前は、資金も潤沢にあったが、今は違う。これからは、協働という形で進めていく事が大切になる。	
4	武蔵台 文化センター	意識的に手を挙げて集まる方ばかりでなく、無作為で声をかけて来てもらうとか、広く市民が考えて、答えを出すための仕組み作りが必要だと思う。	
5	武蔵台 文化センター	同じような施設が、すぐ近くに複数存在するより、集約化したほうが効率的で利便性もよいのでは。	施設の複合化や集約化によって、効率的になり利便性も高まることはあるので、今後マネジメントを進める際に検討していきたい。
6	是政 文化センター	もっと収入を増やすことを行うべきではないか。	例えば民間事業者へ施設を貸し付けるといったことも方法の1つではあるので、歳出の削減だけでなく、歳入の確保ということも積極的に実施していく必要があると考えている。
7	是政 文化センター	利用料金だけで採算が取れている施設はあるのか。	利用料金だけで運営ができる施設はほとんどない。更には、運営だけでなく、建物の改修や改築といった費用まで踏まえると、利用料金だけで成り立つ施設はないと捉えている。
8	是政 文化センター	施設の活用計画を民間から募集したら、きっと良いアイデアが提案されると思う。	指定管理者の公募など、民間のノウハウを積極的に活用していきたい。

9	是政 文化センター	広報やチラシの内容が分かりにくい。もっと参加しようという気が起きるものにしてもらいたい。	今後より多くの方に関心を持っていただけるような工夫をしていきたい。
10	是政 文化センター・ 四谷 文化センター	もっと具体的に施設の状況や財政状況がわかる資料を提供してもらいたい。資料の見せ方にも工夫をしてもらいたい。	今後発展した内容で進める際には、また違った資料を示す必要もあると考えている。様々な目線での分析が必要なので、より分かりやすい資料の作成を心がけたい。
11	四谷 文化センター	この地域は、市境にある。他市にも府中市民が利用できる施設がある。そういった情報を周知してほしい。他自治体との協力体制も大切だと思うので、全庁的に取り組んでほしい。	職員に対しても公共施設マネジメントについての説明会を行っている。職員内でも考えを共有し、協力体制をより強固なものにしていきたい。
12	四谷 文化センター	公共施設全体だけでなく、地域別や種類別でも特性があるので、現状分析をもっとやるべきである。どこに無駄があるのか見極めるのが重要だ。	公共施設マネジメント白書で分析を行ったが、作成から数年経過しているなので、今後更新する際には現状把握や分析などをより多角的な視点で行っていきたい。